

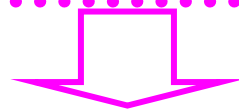
# 相馬病院看護部目標紹介

## ★★2019年度看護部目標★★

### 原点に戻って

### 「自分が受けてみたい看護」を考える

1. ホスピタリティ精神（心地よいと感じる親切なおもてなしの気持ち）で看護する
2. 周知事項を徹底して行う
  - 1) ルールを遵守して安全な看護を提供する
  - 2) 環境整備（患者目線で整理・整頓・清潔・清掃）の徹底
  - 3) プリセプターシップの徹底で採用者を見守る



今年度の看護部目標についてご紹介します。

看護部長になり、随分な年月が経過しました。改めて振り返り現状を評価して、原点に戻ること、今まで周知していたことを再度徹底して行うことが必要だと考え目標を立てました。

まず、看護部理念と各自の看護観を追求し看護を提供すること。些細なことでも当然のように徹底しておこない、（平凡を非凡になるくらい徹底して行う）、ひいては患者様の安全が最大限保障できること、看護職という専門職である前に、一人の社会人として自立し自律すること、以上の趣旨のもと今年度の目標を上記のように立案しました。

各部署の目標をご紹介します。

## ★☆☆2019年度外来・手術室・訪問診療目標☆☆★

### 『外来・手術室・訪問診療のチームの体制確立と看護の質の向上』

一昨年度に引き続き今年度も外来・手術室・訪問診療のチーム力の強化と看護の質の向上を目標に専門性を生かした設定にしました。

外来は、『外来から始まる退院支援・外来でできる在宅支援』を継続し、個別性のある看護の提供を目的に、薬がきちんと飲めていない患者様や受診日に来院できていない患者様等気にかかる患者様には担当看護師がお話を伺っております。患者様情報を共有し患者様に必要なサービスの提供や家族様への相談や協力依頼を含めて自宅生活を安心して暮らしていただけるサポート体制に取り組んでいます。今年度も継続して患者様の状態を見つめ次に繋げられる体制と安心して外来受診を継続していただける体制を構築していきたいと思っております。また、外来案内係の実現に向けて、外来受診時の患者様や家族様のご様子を拝見し案内係としてお迎えやご案内、相談受付から今年度は始めたいと思っております。

手術室は、『安全第1』に環境の見直しや日々の振り返りや積み重ねで患者様・ご家族様が安心して不安なく安全に手術が受けられる環境を追究しています。昨年度から新体制でスタートしました。日々の安全確認作業の徹底や安全意識を常に持ち続けることを継続していきます。今年度は看護記録の見直しも含めて看護記録の充実を目標にしました。

訪問診療は、300名を超える患者様に利用していただいております。更なる改善をして一人でも多く訪問診療を必要とされている患者様の受け入れできる体制づくりと外来・訪問看護、多職種、他事業所との情報共有、情報交換を活発に行い、いつでも患者様からの情報が分かる対応で、患者様が安心して在宅生活を送っていただけるよう体制を整えたいと思っております。いつでもどんな時でも訪問診療が必要な患者様・ご家族様の期待に十分にこたえることができ、満足していただける訪問診療を今年度も目指します。

今年度も外来・手術室・訪問診療の情報共有と連携を合言葉に、各チームの特徴・専門性をとらえた看護についてチームで考える機会を多く持ちたいと考えています。看護部理念に沿って患者様家族様から選んでいただける、満足していただける外来・手術室・訪問診療を目指します。今年も患者様優先の視線でさらなる良質な看護の提供を実践したいと思っております。

## ★☆☆2019年度 2階病棟目標☆☆★

### 『みんなで磨こう、笑顔・優しさ・看護力』

師長になって3か月。まだまだ未熟な師長ですが病棟を任せさせていただいたからには、私に何ができるであろうかと、気が引き締まる思いで今回病棟目標を設定しました。師長として行うこと、できること、またはしなくてはいけないこと、看護師としてやりたいこと・・・など考え2名の主任と相談して師長第一号の病棟目標設定を行いました。

人のやさしさ、思いやり、心配り、声掛け、観察力、行動力など看護の力で、患者様に少しでも安全で安楽な入院生活を送っていただけるお手伝いが可能であると思っています。また逆に看護師の対応一つで患者様に苦痛な入院生活や、不快な入院生活になりうることもつながります。患者様にとって、どのような援助が快適か？また心地よいと思ってもらえるか？どのような声掛けが安心してもらえるか？など、患者様に応じた援助をスタッフが協力して実践できる病棟を目指して、スタッフ一同で頑張っていきたいと思っています。

患者様が喜んでくださると、看護スタッフもやる気、元気をもらえることにもつながっています。こんなに素敵な職についているのだから看護の喜びもスタッフと一緒に味わえたら嬉しいなと思っています。

“あんたが来てくれて安心したよ”

“あ～気持ちよかったすっきりしたよ”

“あ～楽になった”などの患者様の声を少しでも多く聞かれますように・・・頑張ります

## ★☆☆2019年度 3階病棟目標☆☆★

### 『つなぐ チームで行う看護力の実践』

3階病棟では平成30年度まで、患者・ご家族様・院内外が多職種と病棟看護師が『つなぐ・つながる』ことを意識し看護の提供を行ってきました。

患者様の療養・生活の場であるベッド周囲の環境を整えることができ、安全を配慮し転倒・転落防止に努めました。また患者様が見える記録をすることで、情報共有や退院支援・調整へとも繋がりました。しかし意識付けは出来ても、継続した実行力が求められます。ですので、今年度はつながりながら、看護力の持続性を高めていきたいと思いをします。

- I. 患者様主体の意識を持ち、患者様がどうあるべきかを考え、気づくことができる。
- II. 良質な看護の提供 《安全強化・些事徹底》
  - \* 当たり前前を当たり前前に考え行動し、患者様に良質な看護を提供できるように取り組みます。
- III. プリセプターシップの徹底
  - \* 新しいスタッフも増え、仲間が増えお互い刺激しあえる環境です。いいところ探しができる人材育成に努めます。
- IV. 時間管理
  - \* 時間管理を意識し、業務の効率化に努め、やりがいある職場環境作りに努めます。

上記4つの目標が達成できるよう、初心に戻りスタッフと一丸となり、取り組みたいと思いをします。

## ★☆☆2019年度 透析室目標☆☆★

### 『患者様・スタッフが相互満足出来るサービスの提供』

透析室でのホスピタリティとは、

#### 『安全・安心な透析治療』 『患者様・スタッフが相互満足出来るサービス』

の提供が不可欠であると考え、目標としました。

『安全・安心な透析治療』では、透析装置の専門知識と技術向上として、本年度、透析装置の更新を行うにあたり、透析装置の管理体制を見直し、全スタッフが透析装置に対する技術・知識を深めてまいります。そして、進化した透析装置の機能をフルに活用し、最新の透析治療を提供したいと考えています。

『患者様・スタッフが相互満足出来るサービス』では、フットケアでの下肢病変の早期発見と予防の為、足チェックを月に一度実施し、速やかに対応していきます。快適な送迎サービスの利用として、受け入れ体制・方法をマニュアル作成しどのスタッフが対応しても、スムーズな対応が出来るようにします。

患者様・スタッフに選ばれる透析室にしていきたいと考えています。

## ★☆☆2019年度 訪問看護ステーション目標☆☆★

### 『地域の一員として活躍できるステーション作り』

～利用者・家族を地域で支える看護力の強化～

2025年に超高齢者社会に突入する日本に対応できるよう、去年は地域の皆様との交流を通し、訪問看護 ST の地域の役割をスタッフと模索してきました。答えは出ていませんが、ST が“地域の相談場所”として、地域の方々の健康をサポートするために“地域の一員”として活躍できるよう、さらなる看護の質の維持・向上をはかれることを目標としています。そして、それを実現できるためにも、スタッフがいきいきと働き続けられるよう、良い職場作りをすることも継続していきたいと思えます。

例年通り・・・この言葉で締めくくります。

地域のみなさまと一緒に自宅で過ごす喜びを感じながら療養できる場所を提供できるよう、そして、これからも、地域のみなさまに『安心と安全』をお届けできるよう、スタッフ一同役割を果たせるよう努力していきます。